

年頭の ごあいさつ

銚子市長
越川信一

あけましておめでとうございます。皆さまには、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「銚子漁港水揚げ量8年連続日本一」というおめでたい話題とともに新年を迎えました。昨年11月には東京・日比谷公園であったFishhooグランプリで「銚子つりきんめ煮炙り井」がグランプリを獲得しました。銚子つりきんめの品質の良さ、銚子漁協女性部の皆さんの味へのこだわりが実を結びました。昨年は新しい製氷工場が完成し、今年からは第3卸

売市場への閉鎖型の荷捌き所の新設準備など銚子漁港の高度衛生管理体制の整備が進められます。質・量ともに日本一の漁港を目指して、今年も安全航行、安全操業の中で、関係者の皆さんには頑張っていただきたいと思います。

すでに質と量ともに日本一の灯台印の春キャベツと春ダイコンも元気に育っています。昨年も台風の影響で秋口の作付け時に大きな被害を受けましたが、大地に根を張った銚子の農業は力強く元気です。少子化の中で後継者不足が懸念され

ていますが、毎年10人程度の新規の就農者があります。農業に携わる人の平均年齢は千葉県平均より6歳以上若く、県内で一番若いのが銚子の農業者です。銚子の農業は夢のある産業です。

今年も緑のじゅうたんが銚子台地一面に広がります。2020年東京オリピック・パラリンピックの台湾のホストタウンに認定されました。「銚子スポーツタウン」もオープンし、地元産の新鮮な食材を使ったスポーツ選手に合った食事でも好評です。インバウンド観光客の増加、「スポー

ツタウン」を核とした交流人口の増加に期待しています。

食を中心とした銚子の産業は今年も活力にあふれています。厳しい財政状況を乗り越え、豊かな地域資源と銚子の強みを生かしたまちづくりを今年も進めていきます。皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに本年が皆様にとり幸多き年でありませうご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。